

チームビルディング研修

メンバー同士が相互理解を深め、相乗効果を生み出すチームビルディングのポイントを学ぶ

本研修の概要

メンバー全員で組織の目的・目標を共有し、同じ方向に向かっていく。各自が自分の役割を理解し、主体的に行動する。相互理解を深め、異なる視点、考え方、強みを活かしあい、大きな相乗効果を生み出す。そんな「良いチーム」を作り出すチームビルディングのポイントを学ぶ研修です。ワークを通じて、チームビルディングのプロセスや効果を疑似体験するとともに、他者との相互理解を深める上で役立つツールや心理学に基づいたコミュニケーション理論についても解説します。

備考

ワークは受講者層ごとに内容が変わります。管理職層なら「チームをまとめる」ための内容、一般社員なら「メンバーシップを高める」ための内容になるイメージです。

受講対象・人数

管理職層、中堅リーダー層、若手・新人層、内定者
※最大で30名程度

所要時間

7時間程度(昼食休憩60分含む)

プログラムを若干圧縮して、午後のみ(5時間程度)の研修として開催することも可能です。お気軽にご相談ください。

プログラム例

第1章 チームビルディング体験①

ワーク/ナンバーカウント

第2章 良いチームとは何か

ワーク/良いチームとは何かを考える

第3章 チームビルディング体験②

良いチームになる3つのポイント
ワーク/ペーパータワー

第4章 相互理解を深める手法①

ワーク/価値観ベスト3
ワーク/モチベーショングラフ

第5章 相互理解を深める手法②

ソーシャルスタイルの理論
ソーシャルスタイル別対応法
ワーク/ソーシャルスタイル・マッピング

第6章 職場での実践

ワーク/目的・目標・役割を確認する
ワーク/相互理解に取り組む

チームビルディング研修

メンバー同士が相互理解を深め、相乗効果を生み出すチームビルディングのポイントを学ぶ


コンテンツイメージ

Progress

(ワーク)
ナンバーカウント

今、ここに9名の受講者の方がいます。これから、1人1回ずつランダムに数字を読み上げていきます。「1、2、3…」と数えていって、「9」まで数えられたらクリアです。

ただし、**複数の人が同時に数字を読み上げたり、2秒以上の間ができたなら、もう一度、最初からやり直しになります。**



12


Progress

(ワーク)
ペーパータワー I

紙を丸めたり、折ったり、重ねたりして、紙の塔を作ります。

セロテープやハサミ、ノリなどの道具は使用できません。

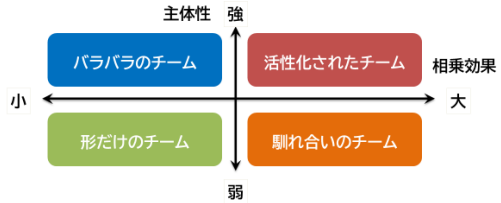
制限時間内にできるだけペーパータワーを高くするため、仲間と協力するポイントを見つけていきます。



27

Progress

チームのタイプ(主体性×相乗効果)



37

Progress


(ワーク)
価値観キーワード

●3名ずつ3グループに分かれて実施

100のキーワードを活用して、自分と相手の価値観(何に価値を見出すかという考え方・感じ方)を可視化します。

価値観は、仕事のスタンス・姿勢、目標設定、判断基準、評価基準、人間関係などに影響を及ぼすもの。

互いの価値観を知ることにより、相互理解を深めることができます。

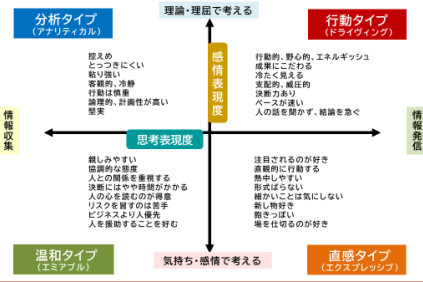


49

Progress

4つのソーシャルスタイル

人間は以下のように4つのタイプに分類され、その行動傾向や志向に違いがあります。




64

Progress

(ワーク)
良いチームの条件をブラッシュアップ

本日学んだことをふまえて、研修序盤にまとめた「良いチームの条件」を見直し、自分なりにブラッシュアップ(磨きをかけて、さらに良いものにする)してみましょう。



95